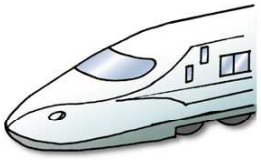
学校教育目標　「自らを律し　共に生きる人になる」

高倉中だより

第19号
2022年5月9日
校長　大島昭彦

3年ぶりの「外出規制」のない連休でした。どのように過ごされたでしょうか？
保護者の皆様には4月、授業参観・懇談会・家庭訪問・部活動保護者会などお時間を作っていただく機会が多く、ご協力ありがとうございました。
学校も新年度開始から早1ヶ月が経過しました。これからは特に3年生は修学旅行、体育祭と行事の準備に忙しい日々になると思います。依然として新型コロナウイルスの感染が収束していないので、体調管理に留意し、感染予防をし、無理をしないことが原則です。ご家庭でもよろしくお願いいたします。



さて、昨今は学校（教育）をめぐるいろいろな変化が言われています。

①公立高校入試選抜制度

すでに報道されていることとして、現2年生から公立高校の入試に課せられていた全員への面接が廃止されることになりました。（一部の高校には特色検査として残ります。）それに伴い、観点別評価の「主体的に学習に取り組む態度」が合否の判定に重視される場面が出てくるようです。また、定通分割選抜の日程・方法にも変更があります。6月はじめには県教育委員会から県内全中学校長に説明があります。詳細（正確な情報）はあらためて生徒・保護者の皆様にお伝えすることになると思いますのでしばらくお待ちください。

②部活動の地域移行の問題

このことも話題になっています。土曜・日曜の部活動を地域の指導に移行していくという今までにない大きな改革です。しかし、当然のことながら様々な課題があるので、現時点では学校現場に具体的な話は降りてきていません。情報が入り次第お伝えします。

③学校運営協議会（コミュニティスクール）

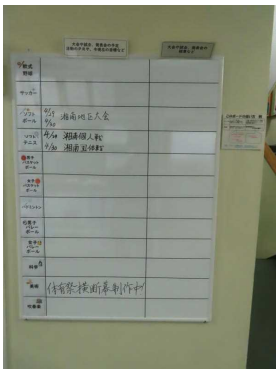
いわゆる「地域と共にある学校（コミュニティスクール）」を進めるため、各校に「学校運営協議会」なる組織の起ち上げが行われています。藤沢市では地区ごとの小中学校に毎年1校ずつその組織を作っていくことになっています。高倉中学校のある長後地区には、長後小・富士見台小・長後中・高倉中があり、今年度は富士見台小学校に設置されました。

コロナ禍もあって、この2年間で多くのことが変わってきました。ある意味シンプルになった面もあってよかったと思うこともありますが、学校教育のデジタル化を含め、急速すぎる変化に想定外のことも起きています。例えば、生徒全員に割り当てられた「クロームブック（端末）」も、故障が相次ぎ、なかなか修理ができないということもあるようです。
このような時代、しっかりと情報を得ながらも、慎重な対応と様々な状況を予測する力が必要不可欠だと思います。入念な計画に基づいたスピード感が大切であり、無鉄砲なスピード感は逆に失速を招くということでしょう。←自分自身も気をつけようと思います。

【お知らせ】5月16日（月）は先生方の研究授業があります。各クラス1～2時間は教育委員会から参観者が来ますので承知しておいてください。

コラボレーション効果　みんなで力を合わせて頑張ろう！

　昔は人気アーティスト同士がコラボレーションで曲を出せば、その曲が爆発的にヒットし、今では人気Youtuber同士がコラボレーションして動画を出し、一気に再生回数が増えるという現象があります。私はそれになぞらえ、生徒会（委員会）もコラボレーションしてどんどん高倉中学校の生徒会パワーを強くしてほしいと、先日の評議委員会で話しました。



　部活動も同様で、いっしょに活動することは難しくても、自分の部活だけでなく他の部活の頑張りも応援し合う雰囲気がたくさんあれば、全体がパワーアップすると思っています。

そのためもあり、校長室前に大きめのホワイトボード（右写真）を設置し、そこに部活動の活動状況を書いてもらうことをお願いしています。

　学校の良いところは一人・単団体だけで頑張るのではなく、みんなで協力して力を出せることだと思います。



＜←5月評議委員会の様子＞

　生徒会本部、各専門委員長、各クラス自治委員が集まり、整然とした雰囲気の中、話し合いを行っています。

生徒総会（6月実施予定）でも活発な意見交換ができるといいですね。

夏の大会はすぐそこだ！





この春は部活動の大会も多く開催され、各部頑張っていました。

コロナ禍で大きな影響を受けた部活動ですが、夏の大会まではもう本当にアッと言う間の時期になりました。

練習時間は限られていますが、できることは何か、よく自分たちの練習を見直し、ベストを尽くせるよう頑張ってほしいと願っています。

写真を撮れなかった部活もあります。

ごめんなさい・・・・







